

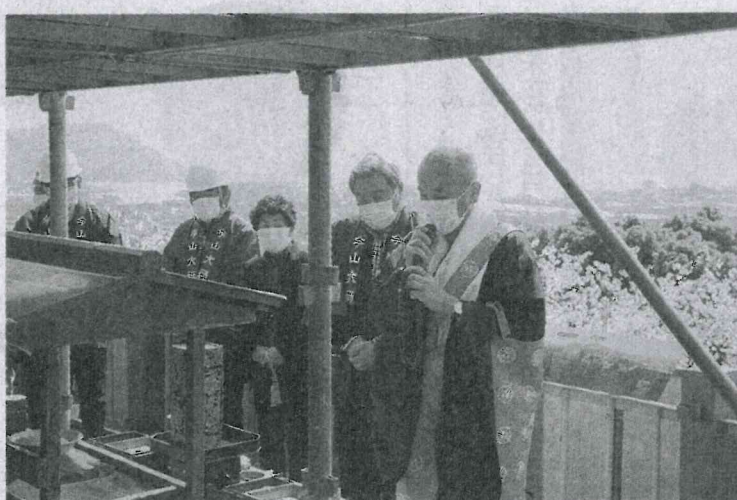


期 お大師さん5月16、17日

延々「疫病封じ 180年祭」テーマ変更

延岡市の今山大師(野中玄雄住職)と今山大師慶賛会(佐藤公昭会長)はきょう、17、19日に予定していた今山大師祭(お大師さん)を5月16、17日に延期することを発表した。期間も3日間に短縮する。

きょう行われた大沐浴として、市が公共施設の(だいまくよく)に先立 臨時休館や市主催のイベント中止などを24日まで



継続したこと、すでに大祭の寄進、浄財が寄せられていること、1840年から始まった大師祭が、今年で180年。疫病封じを起源とする伝統、歴史を尊重する責務があることなどを挙げた。併せて、テーマも「疫病封じ」お大師さん・180年祭に変更された。今山で行われる主な行

事は、ご開帳法要(開会法要)、疫病終息・心願成就(さいごう)護摩供大法要(ご正三法要)、福引、竹灯籠供養、第21回奉納書道展などが予定されている。

野中住職は「新型コロナウイルス感染症拡大に万全を期して、安全、安心のお大師さんを目指すために延期を決めた。疫病

年に1度の大沐浴

弘法大師銅像 慶賛会が

延岡市の今山大師(野中玄雄住職)できょう、弘法大師銅像を洗い清める恒例の大沐浴があった。3月26日に予定されていたが、新型コロナウイルスの

封じとして始まった祭りの歴史を尊重し、早期終息に向けた祈りを込めての祭りに参加したいという思いで、延期を決めた。野中住職は「新型コロナウイルス感染症拡大に万全を期して、安全、安心のお大師さんを目指すために延期を決めた。疫病